

指定管理者の期末モニタリング

施設名	宮代町総合運動公園	年度	令和5年度
指定管理者	ミズノグループ	担当課	教育推進課
指定期間	令和5年4月1日～令和15年3月31日	期別	第4期
施設の目的	スポーツやレクリエーション活動を通じた交流や健康づくりを促進し、活力ある地域社会づくりに寄与することと、それに関連した市民ニーズを幅広く捉え、利用者の裾野を広げる事業展開を実施することを目的に設置する。		
業務の内容	(1)施設の運営に関すること。 (2)施設、設備及び物品の維持管理に関すること。 (3)施設の貸出及び制限に関すること。 (4)施設の利用料金の収入に関すること。 (5)施設の設置目的にあった自主事業の実施に関すること。		

総合的な評価	
【総合評価】	A優良 1 B適正 13 C改善 0
・新たな指定管理期間の1年目となるが、前期から継続して、月曜日が祝日の場合の月曜日開館等、積極的に利用日の拡大を進めた。 ・新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行後も、引き続きインフルエンザ等の感染症対策をとりながら、自主事業の教室で「ピラティス」や「ズンバ」等の新しいメニューに取り組み、集客の回復に努めていた。 ・公共施設予約システムの導入では、システム運用まで期間の短い中、既存のルールやシステム仕様の調整に尽力し、期日どおりの運用開始を行っていた。 ・利用者を第一に考え、施設利用情報の適切な発信や利用者のニーズに耳を傾け、真摯に対応していた。	
【評価事項】	・自主事業の実施にあたり、独自の管理システムを導入し、教室申込、出欠連絡等の管理を行うことで、利用者サービスの向上を図っていた。 ・町民スポーツフェスティバルでは、トップアスリートからの指導を受けられる事業である「ビクトリークリニック」やスラックライン体験会等を実施し、町民のスポーツに親しむ機会に大きく寄与した。 ・障がい者向けの事業として事業計画より1年早めてユニバーサルボッチャ大会に取り組んでいた。 ・公共施設予約システムの導入に際して、システム運用の社員教育を実施して、お客様のサービス向上を行っていた。 ・利用者へ向けて様々な情報発信を適切に実施していた。
【改善事項】	・施設の老朽化が進んでいるため、業務要求水準書等に基づき、今後も便利、安全な施設運営を継続してほしい。

1. 施設の管理運営・事業	評価	B 適正
令和5年度の利用料金収入の達成率は目標値の約100%となった。新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行しても、施設の安全保持に努めながら各種事業を展開したこと、利用者数のさらなる増加に向けて自主事業に新しいメニューを取り入れたことなどにより、目標達成したことは評価できる。また、メインアリーナの床修繕では、業者の手配を速やかに行ったことも評価できる。 市民サービスでは、継続して、月曜日が祝日の場合の月曜日開館など、利用者の目線に立った管理運営を行っていた。		
・利用料金収入 令和5年度目標 25,300,000円 令和5年度実績 25,408,130円 ※目標値の100%、前年比 88,940円減 令和4年度実績 25,497,070円 ・利用人数 令和5年度目標 203,000人 令和5年度実績 194,080人 ※目標値の95%、前年比 3,793人減 令和4年度実績 197,873人		
2. 利用者の公平確保	評価	B 適正
・適正に施設の貸し出しを行い、公平性を確保していた。 ・また、熱中症警戒アラート時の振替対応等、利用者の安全確保のために柔軟に対応していた。		

3. 職員の配置、研修等	評価	B 適正
トレーニング室やプール監視員については、有資格者を配置するなど適正な人材を配置し、業務要求水準書及び事業計画書に基づき、適正に人員を配置していた。		
4. 施設の維持管理業務(清掃、植栽管理など)及び保守点検	評価	B 適正
清掃、設備の保守点検など施設の維持管理業務は業務要求水準書及び事業計画書に基づき、適正に実施されていた。		
5. 施設の修繕	評価	B 適正
施設の経年劣化等により複数箇所の修繕が必要となる中、緊急度や規模により優先順位を判断した上で、順位の高いものから修繕を実施していた。		
6. 備品管理	評価	B 適正
台帳を整備し、適正に管理を行っていた。新型コロナウイルス感染症対策用品も適切に管理し、利用者及びスタッフ等が感染症対策を常に実施できるようにしていた。		
7. 安全・危機管理	評価	B 適正
危機管理マニュアルを作成し、有事に備えと共に、管理責任者及び防火責任者を配置することで安全・危機管理に努めていた。		
8. 個人情報の管理	評価	B 適正
申請書をはじめとする個人情報に関する資料は施錠できる倉庫に保管するなど適正に管理していた。		
9. 利用者ニーズの把握・反映	評価	B 適正
お客様の声ボックスを設置し、利用者からの意見や要望を聞き、その回答を掲示することで、利用者への周知を行うとともに、施設管理、運営に取り入れるよう努めていた。		
10. 自主事業の実施	評価	A 優良
・指定管理者のノウハウを活かした各種スポーツ教室や健康体操教室など幅広い世代に対する事業を展開し、施設を効果的に活用していた。高齢者向けの事業では、前年度に引き続き町健康介護課と連携しながら、健康体操教室を実施し、高齢者等が身体を動かす機会を提供していた。 ・また、町民スポーツフェスティバルの運営に大きく貢献したことに加え、新たにユニバーサルボッチャ大会を実施するなど障がい者向けの事業に取り組んだことは、今後の活動の良いきっかけとなり、高く評価できる。		
11. 経費節減	評価	B 適正
光熱費が高騰する中、冬場を中心にプールカバーを施し、閉所後の水温低下を防いだり、電気の供給先を変えるなど、経費節減に努めていた。		
12. 環境への配慮	評価	B 適正
枝や裁断した幹等は人工芝の下に敷き、いずれ土に還るようにすることにより、廃棄物の削減に努めていた。		
13. 利用者への情報提供	評価	B 適正
イベント実施の際は、指定管理者ホームページだけではなく町広報紙等も使い効果的な情報発信を行っていた。施設が修繕等で使えないときも、早めの周知を心掛けて実施していた。		
14. 会計管理	評価	B 適正
電算処理を行い、収支計画に基づいて適切に会計処理を行っていた。		